

中国電気通信のユニバーサル・サービス政策とその展開

華金玲 慶應義塾大学

Keywords : ユニバーサル・サービス、「村村通電話」、電気通信、貧困脱却、中国

1 目的

本研究は中国国内のユニバーサル・サービス政策に注目し、中国これまでのユニバーサル・サービス政策がどのような形でどのように展開されてきたを明らかにする。

2 方法

中国の電気通信におけるユニバーサル・サービス政策について、その主体、対象、展開について具体的に考察できるようにしている。主体とは、政策を発行している行政機関として定義している。これまでの文献調査を通じて 763 件の中国ユニバーサル・サービス政策が収集でき、2004 年から 2022 年までの 18 年間に中央政府、省政府、地方政府（地方都市政府）から公布されている政策文書となっている。

これらの政策文書を主体ごとに分類し、それぞれの行政機関が何を対象にユニバーサル・サービスを実施し、どのように展開しているのかを具体的に把握できるように考察している。

3 結論

中国のユニバーサル・サービス政策の概念を整理したところ、中国のユニバーサル・サービス政策には用語を含めて、2つの段階に分けられることがわかった。また、763 件の政策文書の大半が地方政府によって発行されたものであることもわかった。これには、中国のユニバーサル・サービス政策の実施方法と深く関連していると考えられる。中国ユニバーサル・サービス政策のもう一つの特徴は、農村地区の電気通信のユニバーサル・サービスから始まり、通信事業者による請負制と国家主導の「貧困脱却」戦略も同時進行した形での展開にあるといえる。農村部のユニバーサル・サービスの実施によって、貧困地域のブロードバンドや移動通信ネットワークのインフラ整備を推進する。通信インフラの整備やより多くの人々が通信を使えることによって、貧困から脱却し、都市部と農村部のデジタルデバイドの縮小、地域間格差の是正を図っている。

4 主な参考文献

林紘一郎, 田川義博「ユニバーサルサービス政策の理念と政策手法を考える」Nextcom,p.4-13,2010.
王澤玉,宿鵬,党梅梅「電信普遍服務為農村發展鋪就信息高速公路」『情報通信技術と政策』2021.